

たまがわ びと

多摩川流域の水と緑に深く関わっている方から、お話を伺うコーナーです。

第4回

船木 直美さん(山梨県北都留郡小菅村 村長・全国源流の郷協議会 会長)

源流の歴史・文化・自然を守るこすげ ～源流を誇りに、みんなが協働するむらづくり～



小菅村は総面積52.65km²の95%を森林が占め、標高1,100～2,000mの急峻な山々に囲まれていて、標高600～700mの位置に8つの集落が点在します。

大菩薩妙見の頭を源にして、多摩川水系小菅川流域の水源地の村であり、村域の北西部は秩父多摩甲斐国立公園に指定されています。縄文中期から後期にかけての石器や土器が村内10数箇所出土しており、森と水に恵まれていたので、古くから人々の生活がこの地で営まれていたのだと思われます。

現在330世帯741名、過疎と高齢化率41%という少子高齢化が進む小さな村ですが、「多摩川の源流」をアイデンティティとした村づくりを積極的に推進



しております。「このままでは源流の郷が消滅しかねない」との強い危機意識のもと、政策提言し全国の源流を守ろうという運動を始めました。この11月から来年1月までに「吉野川・紀の川」「多摩川」「木曾川」地域で「源流フォーラム」を開催します。日本中に流域のつながりを大切にするという考え方を広めていき、国土保全、環境を守るという提言です。

小菅村の廃校になった小学校を利用して、東京農業大学が「多摩川源流大学小菅キャンパス」を平成19年に開校。源流資源の循環活用による地域産業の振興、上下流域の連携・交流・協働推進発展のための特定非営利法人「多摩源流こすげ」を21年に立ち上げました。



多摩川の輪

繋がる、広がる

Vol.4

桃並木を後世に残したい ニヶ領用水・中原桃の会 津脇 梅子

1985年から、どぶ川と化していたニヶ領用水の再生と、むかし中原が桃の里であった事を後世に残そうと桃並木をつくり、今年で28年活動を続けています。花桃の名所として賑わった並木も樹齢の倍を生き、苔むし、切り株が目立ち、植樹しても根付きにくく、衰退の一途。最盛期700本の並木は、今、500本に激減。桃源郷中原の史実伝承と水と緑の街づくりをこれからも皆様とともに進めます。

毎年の恒例行事

3月／中原桃まつり(記念植樹・餅つき・用水路の清掃活動)

6月／川さらい(用水内に胸までのゴム長を履いての清掃活動)

7月／七夕まつり(七夕笹飾りを用水へ流す。親子約250名参加。土産に中原桃など)

年2回／桃並木消毒(2月・5月)

毎月／桃並木剪定・清掃活動(第3日曜日)

活動参加者募集中！(9時 家内橋右岸集合)〈連絡先：津脇 722-8093・安田722-4532〉



編集後記

ニヶ領せせらぎ館は知られているようで、まだ多くの方には、なじみのないところなのか？うれしいことに11月30日13:30～多摩区役所11階会議室にて多摩区の「語ろう、宝磨き戦略」や地元宿河原町会内の若手グループから、この多摩川を望むニヶ領せせらぎ館広場をもっと有効に活用できないかという話題が出てきている。是非この素晴らしい環境資源を有効に活用、推進できる地元を中心とした活動と協働し、期待したい。



ニヶ領せせらぎ館

- アクセス
JR南武線・小田急登戸駅 徒歩10分
JR南武線 宿河原駅 徒歩15分
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮願います。
- 開園時間
午前10:00～午後4:00
6月～9月の土・日・祝日
午前10:00～午後5:00
- 休館日
毎週月曜日
(月曜が祝日の場合はその翌日)